

### 街の人に出会える 歩行者専用の橋

思わず「おはようございます!」「いってらっしゃい!」と大きな声をかけた。「ここには皆さんの生活を支えてきた川があるので、どうか時々見下ろしてみてください」との思いが通じたかどうか、ちらほと手を振り返してくれた。

横浜SUP倶楽部の方々が川沿いを歩く人たちに盛んに声をかけるのは「人の目に届くことから川は息を吹き返す」ことを実感されてきたからでもあると身に

しみて感じる事ができた。

また、川面から橋の名前を確認しにくいことも中村川の橋の特徴だが、車輪を模した欄干の「車橋」、亀甲を模した欄干の「亀の橋」というように見分ける。これらは震災復興橋梁だった橋を当時の意匠を残し架け替えられた橋なのだそうだ。

吉田新田の資料で見た、高速道路建設前の中村川の写真を懐かしい風景のように思い出した。



この時期、キラキラ輝く水面が、橋や高速道路の底に映る。ユラユラ揺れて幻想的な水影。撮影:豊田直之

今更、里山の川にはなり得ないが、せめて都市と一体化した、暮らしの中を流れる川になってほしいと願うばかりだ。

地域社会が川に影響を与えること、そして川は文化なのだと改めて感じさせられる探訪となった。

## 『第5回 川でつながるSDGs交流会』

# SDGsの達成には、 こんな多様性のあるスタンスも



高崎さんの障害のある方たちとのさまざまな日々が綴られた著書「ぶかぶかな物語」も紹介され、会場でサイン入りで販売もされました。撮影:今井俊志

毎回大いに盛り上がるSDGs交流会。今回のスピーカーは、NPO法人「ぶかぶか」の理事長・高崎明さん。横浜市緑区から「障がいのある人たちとは一緒に生きていった

方がトク」というメッセージを様々な形で発信し、障がいのある人もない人も、お互いが暮らしやすい地域を作る。そんなNPO法人「ぶかぶか」の日々の活動を講演。

高崎さんは、元神奈川県立養護学校教員。知的障害のある子どもたちとの付き合いが楽しく、2007年、横

## 大岡川に、暮らす、働く、学ぶ、遊ぶ、人



常に皆の輪の中心に立ち、語はいつも「街のため、社員のため、人のため」。撮影:豊田直之

### 株式会社キクシマ 代表取締役社長 菊嶋 秀生(きくしま ひでき)さん

魅力的な街づくりに力を注ぎたいという信念をお持ちだ。

このことは、10年ほど前から港南台の本社屋上でミツバチを飼育するきっかけにもなったそうだ。収穫したハチミツを街の活性化に役立て、その収益の一部で近隣の保育園に「モミの木」を贈る取り組みがユニークだ。

クリスマスの飾りつけを施された「ミツバチからの贈り物のモミの木」を囲んで喜ぶ園児たちの姿が目につく。

幼少期に大岡川支流の日野川で遊び、尾根伝いに源流域まで散策した腕白さは今も変わらず、湘南に仕事上の現場ができてから、趣味はウィンドサーフィンに。さらに今年は、グループ会社が所在する長野県で社員と登山を計画中だそうだ。どこにいても遊びを忘れない人でもある。

ますます成長する大岡川流域を、共に歩いていきたいと思う。横浜市港南区港南台4-39-7 www.kikushima.co.jp



養蜂場所の本社屋上に近隣の小学生を招くこともある。ここで収穫されるハチミツは暖かな太陽の香りがする。

日焼けした笑顔で颯爽と現れ、屋久島社員旅行での冒険談をされる様子は純朴少年さながら。

だが、鉄骨の製作と工事を請負う先代創業の家業を、元請けも行う会社に、さらに街造りを企画する企業にまで発展させた、まさにチャレンジの方なのだ。

横浜の街の未来のために開催されている講演交流会『Ululu(ウルル)ミーティング』では、本誌も多くの方々と繋げていただいていた。

人を守るために環境に負荷をかけてきた建設業界だからこそ、

浜市に作業所「ぶかぶか」を設立された。現在、就労継続支援事業所のパン屋、コミュニティ食堂、お惣菜屋、焼き菓子工房、アートスタジオ・ショップを運営されています。

障がいのある人たち(ぶかぶかさん)の社会参加例は数多くありますが、高崎さんのお話から、ぶかぶか

さんが街に溶け込み、小さな商店街が形成されている豊かな社会が見えてきました。近くに障害者施設ができると「地価が下がる」とか、「何が起きるかわからないから心配」などの偏見から反対運動が起きたりもします。相模原で起きた悲惨な殺傷事件に象徴されるように障がいのある人たちが

排除されがちな社会にあって、このようなSDGsの達成スタイルもあるのです。

『川でつながるSDGs交流会』についてのお問い合わせ  
株式会社大川印刷  
TEL 045-441-2011  
FAX 045-441-2014  
E-mail magokoro@ohkawa-inc.co.jp



今や環境問題にのみならず、地球上のありとあらゆる営みについて語るには、絶対を外すことのできないSDGs。このSDGsについての考え方やアクティビストの取り組みについての講演と親睦を目的に、2ヶ月に一度開催している「川でつながるSDGs交流会」。第5回となりました。撮影:今井俊志

## 大岡川の『生き物みつけた!』No.13 チチュウカイミドリガニ



汚染にも強く、内海沿岸の潮間帯に生息するという。繁殖力が強く、現在、要注意外来生物に指定されている。撮影:豊田直之

6月12日に横浜市立日枝小学校の4年生の環境出前授業で、蒔田公園内にあるアクアパークという親水エリアに行った時のことです。

「豊田さん、カニ捕まえた

よ。これなんていうカニですか?と、ある子どもから尋ねられました。その姿を見ると、今までに見たことのないカニでした。甲羅は、あきらかにワタリガ

ニの仲間の形をしているのに、ワタリガニの特徴である5番目の脚がオールのような形をした泳ぐタイプのものではありません。写真に撮って置いて、「ちょっと調べて見るから…」と家に戻つ

てから調べてみました。ところがどんなに調べても名前が全くわかりません。

「そんな馬鹿な...新種か?」たまたまカニの外來種をちらっとみた時、姿形のそっくりなカニがいました。チチュウカイミドリガニ。1984年に東京湾で発見されて以来、日本中の内海に定着した、地中海原産の外來種。なんと大岡川の汽水域にも棲み着いていたのです。



その昔、船のバラスト水に混入して運ばれた。

**ボトル料金 3,000円分サービス!!**

※初回、1グループ1枚限りとさせていただきます。

ボトルがあれば3,000円で  
飲み放題・歌い放題!!  
割物(ミネラルウォーター)も全て込み!  
ボトル...3,000円~/おつまみ...300円~

多くのお客様のご来店をお待ちしております。

TEL: 045-264-4988  
〒231-0011 横浜市中区太田町2-27  
ザ・パレルム高ビル5F  
【営業時間】19:00~24:00【定休日】土・日・祝日

湘南太陽会グループは  
人々の心とからだの健康を総合的に支援します。

湘南太陽会

毎日診療しているクリニック  
鳥居泌尿器科・内科  
【金沢文庫】

23時まで診療しているクリニック  
相生23クリニック  
【関内】

駅前まで21時まで診療しているクリニック  
ねぎし泌尿器科・内科  
【根岸】

泌尿器科トラブルの総合カウンター  
スカイビル胃・泌尿器科クリニック  
【横浜]